

Step 1 廃石膏ボードの 受入れ



工場に運ばれてきた廃石膏ボードは、この管理表によって不純物混入の有無を目視確認し、受入れをします。

Step 2 破碎・分離



分離機によって、紙と石膏粉に分離し、粒度調整等を行います。（処理能力：約5 t/h）

岐阜県



にしかわの

工場見学

石膏ボードリサイクル推進ネットワーク
(有)ラルス

資源循環型社会を創造。



一般社団法人 泥土リサイクル協会

<http://www.deido-recycling.jp>

〒492-8266 愛知県稲沢市横地町12
TEL: 0587-23-2713 FAX: 0587-23-2734

今回は、NPO法人石膏ボードリサイクル推進ネットワーク理事長 藤中様が代表取締役を務めていらっしゃる有限会社ラルスが、石膏ボードの工場を新しく増設されましたので、見学させていただきました。行って参りました。



Step 3 焼却



こちらの工場では、表面温度が700～800℃で無水石膏になるまで焼きます。

Step 4 冷却



焼却された石膏は白いパイプを通り、冷却装置へと移動します。



落ちてきた無水石膏は、配管内に通水された水によって冷却されます。（パイプの中は二重構造になっている）

Step5

保管



出来上がった製品はトンパックで袋詰めされ、出荷を待ちます。

その他



工場内の品質・製造管理はすべてこの装置で行っています。

廃石膏ボードには不純物が含まれているものもあり、受入れる際には気をつけなければいけません。こちらの工場では、表を作ってしっかりと管理をされていました。

また、利用用途先の要求品質に応じて粒度調整を行い、無水石膏まで焼却をされているなど、廃石膏ボードのリサイクルを環境面・安全面ともにしっかりと行われていました。

藤中社長、お忙しい中、また雪の降る寒い中、工場内をご案内いただきありがとうございました。

西川

